

学生の時よりも、
社会人になってから
男女差別を感じるように
なったような気がするの、
気のせい？

COM+S



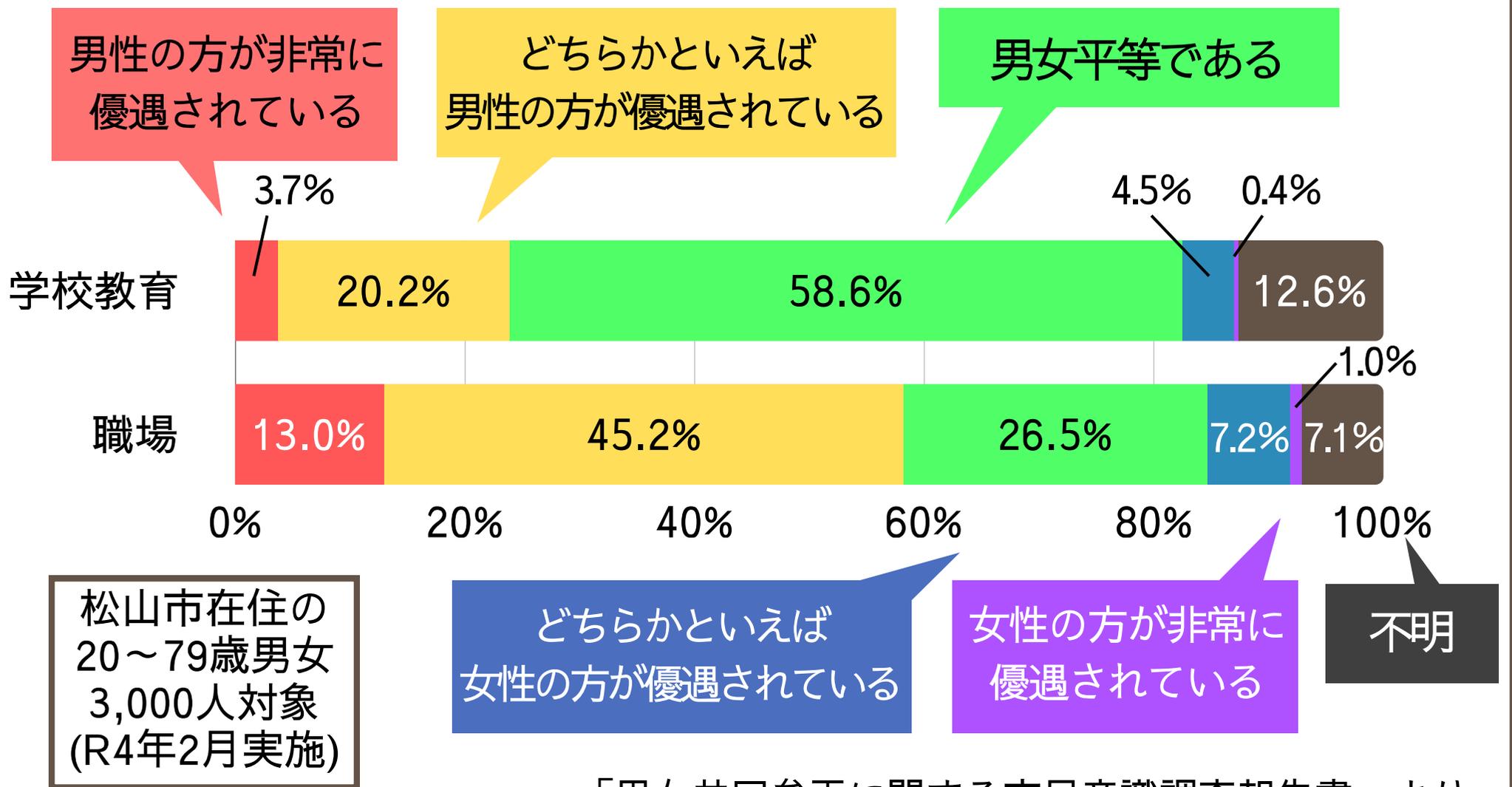
学生時代、学校生活の
中ではジェンダーギャ
ップを感じていなかっ
たけれど、社会人にな
ってから、男女差別を
目の当たりにして驚く
若者がいるそうです。

NEXT 



気のせいではない かもしれません！ こんなデータがあります

Q. 次にあげる分野で、男性、女性、どちらが優遇されていると思いますか？



「男女共同参画に関する市民意識調査報告書」より



「男女平等である」と感じている人の割合は、学校教育58.6%、職場26.5%です。

学校教育よりも、職場の方が、「男女平等」と感じる人の割合が少なくなっています。

皆さんも、職場で「男女平等でない」と思ったことはありますか？ アンケート調査で集まった、松山市民の声を紹介します。



性差による制約を受けたり、 生きづらさを感じたりしたことはありますか？

「男女共同参画に関する市民意識調査報告書」（R4年2月実施）より

男性上司が女性上司に「女性が偉そうに言うな」と言っていた。男尊女卑があり、生きづらさを感じました。（20代女性）

育児休業の取りにくさ。（30代男性）

男性社員の方が店長候補として経験させてもらえる仕事や集まりがあり、勤続年数ではなく男女での差別があったように感じた。（30代女性）

同じ立場で仕事をしていても、同じミスをしていても女性の方が処罰があまい。（40代男性）



給料が低い、役職をもらえない、飲み会の場で男性上司の隣に座らされる。(30代女性)

男性だから遠方に仕事に行かされた。(40代男性)

バリバリ仕事をしたいと思っていた時期に「女は家庭を守っていればよい」と面と向かって言われ、落胆した。(30代女性)

力仕事は男がやらなければならない。同等であれば、力があるかないかは関係なく、仕事とは仕事である。また、危険な仕事も同じである。(40代男性)

なかなか正規で職場を見つけられなかった。(中略)どうして男性と同じような仕事に母親は就くことをすすめられないのか。(40代女性)



まずは、知ることから始めてみませんか？

職場でも、学校でも。そして、家庭や地域でも、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するために、まずは知ることから始めてみませんか？

事業所・団体向け【出張講座】

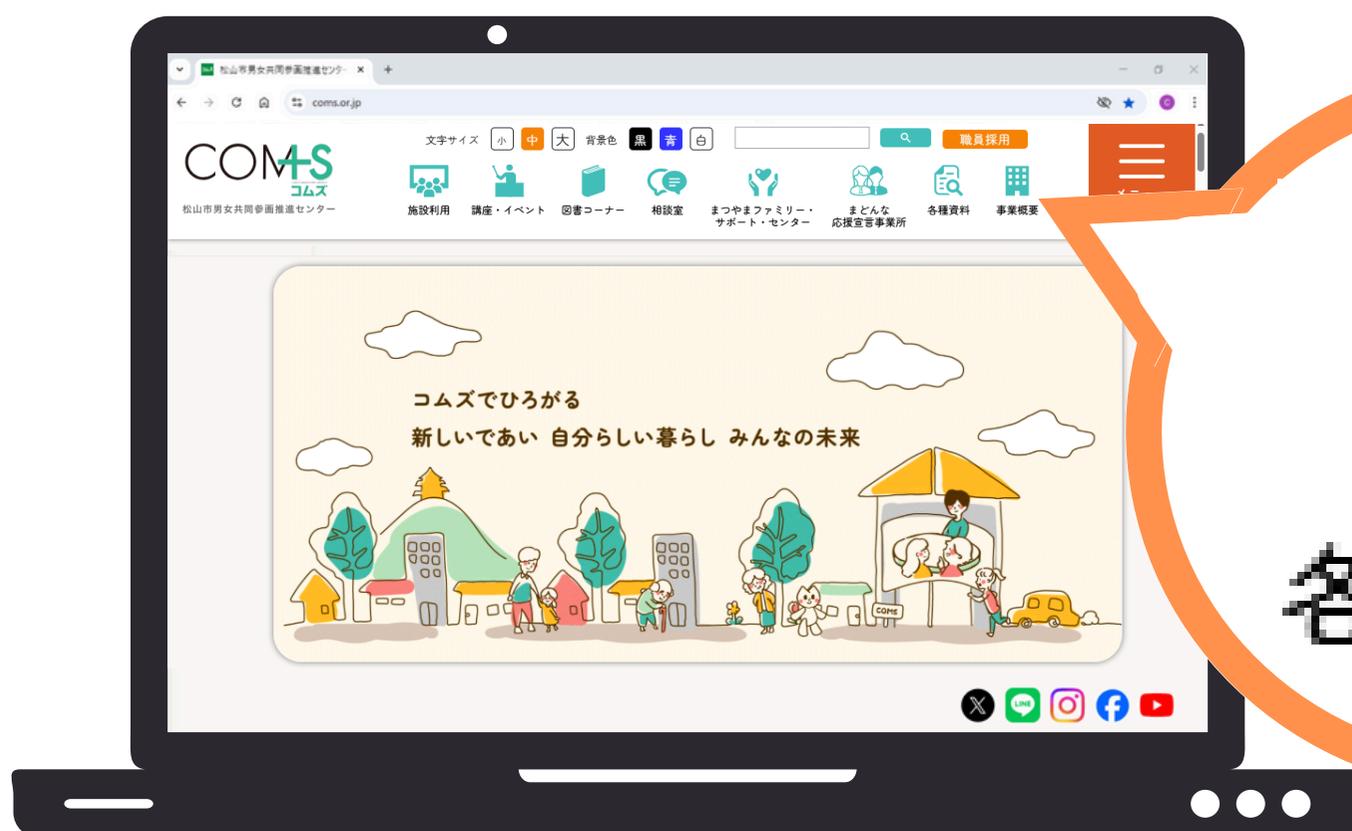
コムズでは、男女共同参画に関する各種研修を行っています。性別にかかわらず力を発揮できる環境になっているか、一緒に見直しませんか？ピッタリの講師を無料で派遣します。ぜひ、出張講座にお申込みください。

個人で参加したい！

個人向けの講座も定期的を開催しています。ホームページの【講座・イベント】をチェック！



今回ご紹介したアンケート調査の結果は、
松山市男女共同参画推進センター・コムズの
ホームページで、詳しく見る事ができます。



報告書と、ダイジェスト版の
PDFデータを掲載しています。

- 今回参考にしたのは、
- ★ 報告書 p.21～34、156～158
 - ★ ダイジェスト版 p.2～3